

教員のスキルアップ支援 プログラムのご紹介

1. DX人材育成のための教員研修

課題

日本の高校現場では、ICTの活用が進む一方で、教員のデジタルスキルの向上が追いつかず、授業準備や管理業務の負担が増大しています。**多くの教員は新しいツールや技術の導入に対する不安を抱え、従来の教育手法に依存する傾向**があります。この状況は、教員の労働環境の改善や生徒への効果的な教育の提供に対して大きな障壁となっています。

あるべき姿

全ての教員が**自信を持ってICTツールを活用し、効率的かつ創造的に授業や業務を行える状態**を目指します。これにより、教員の業務負担が軽減され、生徒一人ひとりに合わせた個別学習の提供や学習成果の向上が可能となります。

ご提案

ワークショップ形式での進行によるDX人材育成のための教員研修をご提案します。
外部講師として富士通グループが授業を受け持つカリキュラムとなっております。



2. 富士通グループの考えるDX人材育成

教職員様一人ひとりがDXを自分ごととして捉える

【DX人材の育成】

- デジタル分野を支える人材のスキル強化
- デジタル社会に必要な県全体のリテラシーの向上

学校現場へ

教育現場における教職員様の
DXマインド醸成

教育DXの実現



教育現場における
課題認識と今後の展望

ご提案の狙い

■ 課題認識

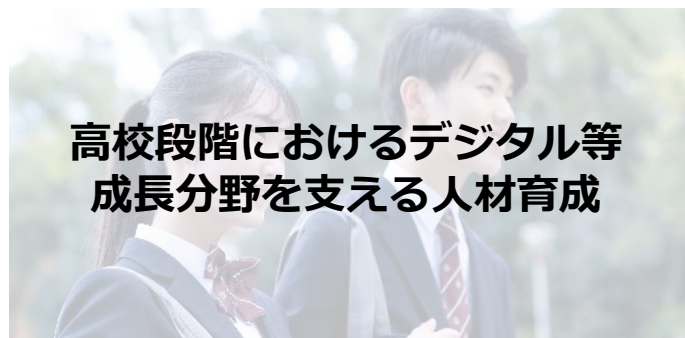
- 教員のデジタルスキル不足
- 教育内容の柔軟性不足

■ 今後の展望

- 教員のデジタルスキル向上
- 探究学習のデジタル活用



高校段階におけるデジタル等
成長分野を支える人材育成



3. 研修概要 ①実施概要

学校現場のDXを知り自分ゴトとするワークショップ

研修の概要

DXとは何かを学び、考察するワークショップです。
他の教育現場での取組や、現在どのような技術があるのかを講話やデモで学びます。その上で**学校現場で実現できそうなDXは何か、推進上の課題など他の教職員様と対話をとおして考え、生徒中心の時間を増やすための学校づくりへのマインドを醸成**します。

研修のゴール

- ・業務を効率化することによるメリットを考え、学校現場で実現できそうなDXのアイデアを発想します
- ・デジタル技術を知り、自身の学校に役立つ気付きや実現に向けての課題を整理します

実施概要

- ・対象：教職員様
- ・研修時間：5時間
- ・価格：個別見積
- ※オンライン環境はお客様にてご準備願います
- ・定員：40名／回
- ・実施形式：オンライン研修



3. 研修概要 ②実務に即したデジタル技術体験

能動的な研修にするため、デジタル技術体験を研修に取り入れます。実機やデモによる体験をととして、自らの業務に活用できる具体的なヒントを得ていただきます。

【教務】最新AI（生成AI）体験

- ・生成AI技術の体験を通して、今できることを知り、現場での活用を検討いただく
- ・従来の検索エンジンとの違いを理解し、生徒たちの日常利用に関する指導を検討する機会とする
- ・実際に問題の作成などを体験することで、具体的かつイメージしやすい内容とする

3. 研修概要 ③能動的かつ効果的なワークショップ

Point カードワークによる直観的なアイデア発想

デジタルテクノロジーに詳しくなくても、実現性の高いDXアイデアの発想を促す**富士通グループ独自のデジタルカード**を使用し、**能動的な研修を実施**します。



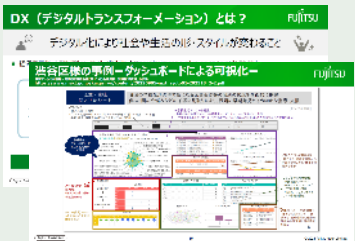
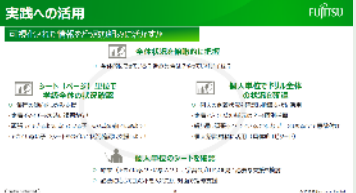
Point Webアンケートによる効果測定

パソコンまたはQRコードによるスマートフォンから回答可能なWebアンケートも実施可能です。アンケートでは理解度や研修に関する意見のほか、教育現場での生の声を収集することで、**今後の支援活動での貴重な検討材料**となります。



3. 研修概要 ④ワークショッププログラム

対話による意見交換とデジタル技術体験を交互に行うことで、段階的に理解を深めていただきます。

Act1. DXについて考える①	Act2. 情報インプット 「教育現場のDX事例と DXの基礎知識」	Act3. DXについて考える②	Act4. デジタル技術について考える① 「教育活動におけるDX」
			
■ DXの定義を考え、言葉にする① DXに対する自身の第一印象を確認する	■ DX基礎知識の習得 DXの基礎知識や、教育現場のDX取り組み事例を知る	■ DXの定義を考え、言葉にする② - インプットを受けてDXに対する自身の意識変化を確認する - 自身の学校で参考にした事例や内容を整理する	■ デジタル技術の体験デモ 授業に活用できるデジタル技術を体験する
Act5. デジタル技術について考える② 「ChatGPT」「ノーコード ローコードツール」	Act6. デジタルツール体験における考察 「デジタル技術について考える」	Act7. 対話による発想と共有 「学校業務の効率化を図るDXとは」	Act8. 今後のDXの展望 「DXを実現するために必要なコトとは」
			
■ デジタル技術の体験デモ - 話題の生成AIやノーコード、ローコード技術の活用事例を学ぶ - 体験デモをとおした気づきを共有する	■ 「デジタルツール」を学校で活用するシーンを想像し、障壁や対策を検討する 学校現場でデジタルツールを活用した際の障壁や対策を考える	■ 学校で実現できそうなDXは何かを考える - 学校業務の効率化や、子どもとの時間創出を図るアイデアを発想する - デジテクカードで発想を促し、思考を発散する	■ 本日の気づきの整理 ワークショップを通じ、自身の総括を言葉にする

2025年8月版

お問い合わせ先
富士通Japan株式会社

お客様総合センター

TEL : 0120-835-554

受付時間 : 9 : 00 ~ 12 : 00および13 : 00 ~ 17 : 30 (土曜・日曜・祝祭日・当社指定の休業日を除く)

© 2025 Fujitsu Limited